



## 看護の道 決意を新たに

杉森高校は6月10日、市民文化会館で第52回<sup>たいぼうしき</sup>戴帽式を開きました。これは本格的な臨地実習に向けて気持ちを新たにしている行事。女子生徒はナースキャップ、男子生徒はエンブレムを教員から1人ずつ授与されました。生徒たちは7月10日から市内外の病院で実習に臨みます。

市の最新情報は公式LINEで発信しています。プッシュ通知なので情報を見逃すことなく便利です。ぜひ友だち登録をお願いします。



CONTENTS	ページ
らくステ8月7日稼働開始	2~3
白秋献詩募集、オスプレイ説明会ほか	4~9
水都 info、まちかどレポートほか	10~15
お知らせ掲示板、活動紹介ほか	16~23

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



両開小学校5年  
古賀 都子 さん

## 友達とよりよい関係をつくるには

みなさんは、友達と話してモヤモヤしたことはありませんか。また、その時どのようにしていますか。私は4年生ごろから、友達と仲良く過ごすにはどうすれば良いか、よく考えるようになった。5年生になった今、3つの経験を通して友達とよりよい関係をつくれるようになりました。

1つ目は、私が間違えたり失ばいしたりした時のことです。友達から「ダメだよ」「はあ、」など強く言われて心が苦しくなったことがあります。自分が言われて、とても苦しかったけれど、自分も同じような言葉を言っていました。何も考えずに言っていた、自分が言った言葉で、もしかしたら友達も苦しくなっていたのではないかと

思い、とても申しわけない気持ちになりました。この経験から、相手の気持ちを考えて声をかけることがとても大切だと思いました。

2つ目は、友達と遊ぶ約束をしていたけれど、急にことわられてひとりぼっちになったと感じた時のことです。私と遊ぶ約束をしていた友達と私の約束をこわった後、別の友達と遊んでいるのを見ました。この時、「仲間はずれにされたのかな。」と色々なことを考えた。ひとりぼっちになった感じがしてとても不安になりました。しかし、その友達は、たまたま別の友達としゃべっていただけで、家の事情があって私の約束どおりには、遊ぶなかつたと後でわかりました。

この時の経験から、友達がひとりぼっちに感じるようなことは、絶対したくないと思いました。

3つ目は、友達と言い合ってしまった時のことです。仲直りをしたくて、そのことを別の友達に相談しました。その友達は、私が仲直りできるよに言い合っていました。そして、「お互いの気持ちを伝え合ひ、なっとくができるよにしよう」という解決方法を考えつきました。次の日、話しかけると友達はまだおこっている様子で気まずい空気になりました。心ぞうがバクバクしましたが、勇気を出して自分の気持ちを伝えると、友達は少しづつ笑顔になり、仲直りができました。この時、勇気を持って自分の気持ちを伝えるこ

とが大切だと感じました。これらの経験から、相手のことを考えた言い方をしたり、みんなが気持ちよく過ごせる行動をとったりしようと思いました。もし、友達との関係がうまくいかないことが起きても、勇気を出して自分から話しかけて仲直りする努力をしていきたいと思っています。そしてこれからも友達と笑顔で過ごしていきたいです。

【先生からの一言】  
自分の発言や行動を見つめて、友達との関わり方をしっかりと振り返ることができていますね。自分の思いが伝わるまで話したり、友達の思いが分かるまで聞いたりして、お互いが納得するように話し合うことを大切にしてください。